# 2026 年度　発達支援研修会（会場型）

## 【10月　ことばの発達を支える相互的コミュニケーション～やりとりを通した支援の実際～】










　2026年10月21日、弘前医療福祉大学 保健学科 医療技術学科長であり、かつ言語聴覚士でおられる 小山内筆子先生をお招きし、「ことばの発達を支える相互的コミュニケーション～やりとりを通した支援の実際～」というテーマで、ご講演いただきました。

　小山内先生には年に1回言葉に関する研修会をお願いしているのですが、今回は、ことばだけではなくそれにまつわる相互的なやりとりについて学びたい、とお願いしました。

　まずは、わかっているようでわかっていない”相互的コミュニケーション”の概要についてお話いただきました。いかに、「伝えたい」という気持ちが大切か、そしてそれが土台となってことばが発達していくこと等をお話いただきました。またことばの発達段階等についても詳しくお話いただきましたが、特に「インリアルアプローチ」についての反響が大きかったです。共同注意を引き出す支援にも深くつながっているこのアプローチが、こどもの発達を支える上ですごく重要に感じました。イラストもまじえて詳しく説明していただき、参加者の皆様にもすごく響いたように感じました。

　来年度以降もさらに充実した研修会を開催できたらと考えております。

　ご講演いただいた小山内先生、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

文責　品川